

高校生ものづくりコンテスト山形県大会「電子回路組立部門」

山形県立新庄神室産業高等学校

機械電気科 姉崎 剛

1. 大会について

- ア 日時 平成29年6月17日（土）
イ 会場 山形県立産業技術短期大学校
実験実習棟3階電子回路実習室
ウ 参加 県内6校より17名

本大会は、東北大会の予選も兼ねている。県内工業系学科設置校6校から、合計17名の選手が参加した。例年に比べて、参加人数は減少したものの、各選手とも学校の代表として、日頃の練習の成果を発揮しようと、真剣に、また懸命に競技に取り組んでいた。

4. 競技および結果

開会行事の後、各競技を行った。緊張感を含んだ静けさのなかで、各選手とも懸命に競技に取り組んでいた。ハードウェア競技・ソフトウェア競技を総合して順位を決定し、総合で入賞した選手以外から、各競技の上位者を、それぞれの部門の入賞者とした。結果は以下の通りである。

<総合>

- 1位 高橋 隼汰
県立山形工業高等学校 情報システム科3年
＜東北大会出場権獲得＞
2位 元木 達彦
県立山形工業高等学校 情報システム科2年
＜東北大会出場権獲得＞
3位 高橋 優太
県立新庄神室産業高等学校 機械電気科3年

<ハードウェア競技>

- 1位 丹羽 芽生
山形電波工業高等学校 やまがた創造工学科1年
2位 佐藤 生弥
県立山形工業高等学校 情報システム科2年
3位 塩野 隼大
県立米沢工業高等学校 電気情報類2年

<ソフトウェア部門>

- 1位 吉田 直弥
県立米沢工業高等学校 電気情報類3年
2位 五十嵐快
県立鶴岡工業高等学校 情報通信科2年
3位 尾関 哲
県立鶴岡工業高等学校 情報通信科2年



競技の様子

ハードウェア競技に関しては、上位選手の得点差がわずかであり、特に上位の2名（この2名は総合にて入賞）は減点0の満点と、練習の成果・技術の向上が伺えた。ソフトウェア競技では苦戦する選手も見受けられたが、練習を重ねてきた3年生だけでなく、2年生、1年生の選手も健闘していた。今後に期待するところである。

総合順位は、比較的ソフトウェアの出来が影響している傾向があるようでもあった。プログラミング技術の向上にも期待したい。参加選手は皆、日頃の練習の成果を出し切ろうと健闘する様子が印象的であった。

5. おわりに

今大会を行うにあたり、会場を提供いただいた産業技術短期大学校、また、大変お忙しい中、審査を快く引き受けていただいた審査員の先生方をはじめ、大会運営に関わっていただいた関係各位の皆様方に心より感謝申し上げます。